

## 「2023年韓国・延世大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学医学部1年 松本瑞季

今回のプログラムは、韓国語を一人で学習していた私にとって韓国語を実際に使うことができる機会としても楽しみにしていたものでした。韓国を好きな人たちどうして集まって一緒に語学学習と文化体験、観光をできるということで、私の初めての海外滞在としてとても充実したものになりました。

語学堂での学習は話す練習が多かったので、話す練習をしていなかった私にはとても意味あるものになりました。私のクラスでは、在米韓国人など会話のほう得意で読み書きが苦手な人がいたり一般的な学習者のように読み書きのほう得意な人がいたりして、様々なタイプの人と交流することができていい経験になりました。ただ、他の学生との共通言語が英語のことも多く英語の重要性も改めて実感しました。

韓国と日本の差として、歩行者が道路を渡ろうとすると日本なら自動車側がとまってくれますが韓国では止まってくれないことが多かったので、車道を渡るタイミングが難しかったです。またバス停にバスの時刻表がなく代わりにあと何分で到着するかが表示されており、初めのころは少し慣れませんでした。スーパーやコンビニのような日本にもある身近な施設に行くことで、日本との違いを感じることもできました。スーパーで商品をスキャンしたあとにその場でかばんに詰めなければならなかったのが戸惑ったり、バスの運転手さんが自分の好きなラジオや音楽を流していたり比較的自由に勤務していることに驚いたり、日常的に使う施設で日本と韓国の違いを見ることができたのが面白かったです。

語学堂での授業後の午後を使って意外と半日で様々な観光地を回ることができたので、毎日充実した時間を送れました。中でも土日の自由行動の間にDMZツアーに参加したのは本当の貴重な体験になりました。北朝鮮から数百メートルのところまで地下のトンネルを使って行ったり、韓国人の目線からの南北問題について意見をガイドさんから聞けるのも新鮮でした。また、DMZという地域を韓国が観光地化していることについて不思議な感じがしました。

行く前は延世大学の学生たちともう少し交流できる機会があると思っていたのですが、予想していたほど韓国人と韓国語で話す機会がなかったので、その点は少し残念でした。また、本当なら三週間の過程で全15回の授業があるのですが、京大生だけ日程の都合で最後2回のフィードバック授業を受けられず不完全燃焼のような形になったことが残念です。ただ、京大生たちと時々韓国語で会話したりして韓国語を使うことができたのはよかったです。UIC講義の特別聴講では内容が少し専門的でずっと英語なので内容理解が大変でしたが、自分の英語力の足りなさを再認識する時間になりました。

今回初めて海外に行って現地のニュースを見たりする中で、留学したいという気持ちが強くなりました。プログラム中韓国は選挙の時期だったようで選挙活動を目にする機会があったのですが、日本よりはまともな政治家が多そうだなと感じました。

저는 이번 유학을 통해 한국어를 실제로 쓸 수 있어서 많이 연습이 되었습니다. 매일 어학당에서 공부도 하고 오후에는 구경도 하고 즐거운 시간을 보냈을 뿐만 아니라 좋은 친구들과 선배님들을 만날 수 있어서 아주 기쁩니다. 앞으로도 한국어 공부를 열심히 해서 다시 한국에 가고 싶습니다. 이번 프로그램의 준비를 도와주셨던 모든 분들, 정말 감사했습니다.

I attended a class of "A Socio-Economic Stroll through 20th Century Korea: Parts 1 & 2" by Professor Kahm, and I want to write about that lecture. The lecture was mainly about the economic aspect of South Korea in 20<sup>th</sup> century. Before talking

about the economics of South Korea, he explained from the overall history of Korean Peninsula, so it was really helpful for me to understand the backgrounds of South Korea politics.

Professor Kahm started talking about “What is history?” and this story really impressed me. He said that facts and arguments are different things and that history is a mix of facts and arguments. Since arguments is what someone has written, history cannot be completely objective and it always includes some controversies. When I studied the world history in high school, I thought that history is a pile of facts recorded in books or papers. However, after listening to the lecture, I realized that even the records reflect some subjective opinions of the writers and what we learn as history is a collection of those records. The lecture was a good opportunity to think about what is the truth and an argument.